

# 地域おこし協力隊が行く

Vol.9

February 2018

## スポーツ振興を通じて～大学合宿受入れ～

8月28～9月1日の5日間に渡り、日本体育大学体操部（92名）が12月に開催される「第49回演技発表会」に向けて、全体合宿を実施しました。

滞在期間中は、「東御中央公園第1体育館」で、午前・午後の練習を行い、宿泊は、「大田区休養村とうぶ」を利用しました。今回、大学合宿を誘致した目的は、①東御市のすばらしい資源（施設）を利用し合宿誘致の可能性を見出すこと。②教育現場への介入により新たなスポーツ振興の構築の2点です。この結果、①については、練習、宿泊施設とも約100名前後の受入は容易にでき、受入先は非常に満足して頂きました。②については、今回小学校に限定し介入しましたが、子ども達が楽しく体育活動をしている姿をみて、

今月の  
クローズアップ!!



生徒や教員の満足度は高かったと感じました。現在、小学校における「体育専科教員を活用した授業改善と体力・運動能力向上」など、先行研究が増えているなか、ここ東御市でも、新たなスポーツ振興の形を見つけることができそうです。（佐藤照友旭隊員）

## 冬の東御の好きなおとこ

鮭名星児隊員（東京出身）



3年目ともなると東御の冬にも慣れました。カラッと乾いてキリッと冷える東御の冬が好きです。暖かい温泉にザブッと入り、シュワッとはじけたビールをググッと飲み干せば…うん、最高。

菊地夏代隊員（埼玉出身）



東御市の冬は初めてづくし。車のフロントガラスが凍る、道路が凍る、家のカギ穴が凍る！でも東御の冬野菜は美味しいので、あったか鍋を毎日のように楽しんでいます。また寒いからこそ綺麗に見える星空に感動しています。

山本佳子隊員（大阪出身）



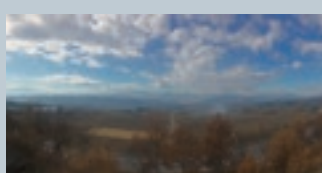
冬は空気が澄んだ晴れの日が多く、夏には数回しか見えなかった富士山が週5日くらいの確率で見え、北アルプスがピカピカに光って見える。通勤の朝、湯の丸婦恋線→浅間サンラインを運転しながら、感激しまくっています。

森健太郎隊員（北九州出身）



特に印象的なのは雪の日の静かさ。これまでいた地域では雪はあまり降らなかったのですが、雪の日の静かさは、東御に来て初めて知りました。雪が降ったら、人のいない山奥を目指してふらふらと出かけています。

大塚達朗隊員（静岡出身）



静岡の海側は冬でも雪が降らないので、雪がとても珍しいです。東御の冬は普段から氷点下の日が多くてびっくりします。冬の東御は空気が澄んで、景色がくっきりと映え素敵です。

谷貴人隊員（愛媛出身）



冬の晴れた日に見える山の景色に毎日感動しています。ケアポートから見える浅間山。サンラインから見える蓼科山にアルプスの山々。東御に来て3回目の冬を迎えましたが、いまだに感動しっぱなしです。

有賀慎吾隊員（埼玉出身）



冬の千曲川。残念ながら冬場の写真はありませんが、幼少の頃雪の中を祖父と散歩をした思い出のある場所です。特に落葉樹の葉が落ち露わになった外山の岩肌はなかなか見応えのあるものです。

大久保真平隊員（東京出身）



藁巻して寒さに耐えている葡萄たちから、東御の美味しいワインができると思えば、東御の寒い冬も大好きです。東御のワイン飲んであったまっています。